

こどもの運動プログラムを通じた教育機関との共創

- 多様な主体との連携・協働による地域の課題解決や価値向上に向けた「共創」の取組の一環として、北海道教育大学岩見沢校等との協働により、こどもの運動プログラム「Nチャレンジ」を道の駅で実施しました。
- 道の駅「田園の里うりゅう」（6月29日）では、道の駅のイベント「おいしい！初夏まつり」の会場で実施。また、川と道の駅「花ロードえにわ」（10月19日）では、石狩管内の道の駅で初めて実施となりました。
- 本プログラムは、地域の子ども達に運動に親しんでもらうこと。道の駅等の既存の公共施設を活用して、地域の賑わいの場を創出することを目的としています。



道の駅 田園の里 うりゅう（6月29日）



道と川の駅 花ロードえにわ（10月19日）

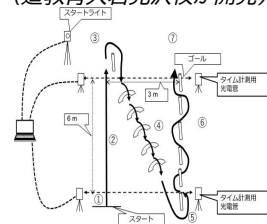
午前10時から午後2時までの間に、「田園の里 うりゅう」には町内外から40名以上、「花ロードえにわ」には市内外から70名以上の子ども達の参加があり、大盛況でした

「Nチャレンジ」を実施して体感できた効果

- ◆ 「Nチャレンジ」を目的に道の駅を訪れた方が多数見られました。イベントを通じて交流促進が図られ、地域活性化への効果が期待できます。
- ◆ たまたま立ち寄った方の参加もあり、道の駅が持つ集客力の大きさを実感できた。
- ◆ 参加者の声から「いろいろな地域で実施してほしい」、「こどもと楽しめるイベントがありがたいです」といった意見が寄せられ、地域の子ども達が運動に親しむ動機づけとなった。

Nチャレンジとは

Nチャレンジプログラム (道教育大岩見沢校が開発)



子どもの直線のスピードや方向変換を中心としたアジリティ能力を楽しく測定する運動プログラム
約6～10m四方のスペースがあれば実施可能

教育機関

道の駅など
公共施設



札幌開建

自治体

- ・実施箇所候補選定
- ・市内教育機関への呼びかけ
- ・道の駅管理者との調整
- ・HP、SNSでの発信
- ・効果検証のためのアンケートなど

北海道開発局と北海道教育大の連携



調印式の様子
(北海道開発局
公式X)



北海道開発局と北海道教育大学は、北海道における将来世代の人材育成及び地域活性化を目的として、令和7年6月27日、包括連携協定を締結しました。